

上田高校入学式に参列 4月5日

上原 昇 (2組)

4月5日(木)、母校の入学式に来賓(関東同窓会会長)として初めて参列した。今年の桜前線は例年になくスピーディーで、昨年より1週間以上早く上田に上陸。当日は古城の門脇の満開の桜の下を潜り抜けると、緊張の中にも晴れやかな新入生たちの顔がみえる。

今年の入学生徒数は全日制 323 名、定時制 28 名で第 119 期となる。

119 期といえば我々より 54 年離れているので、結婚の早い同期のお孫さん世代になる。母校では今 4 月から学校長も交代した。3 年間学校長を務めた内堀繁利さんは長野県教育委員会の参与に就任。新学校長には廣田昌彦さん(前上田高校教頭で長野高校 0B)が着任し新体制がスタートした。

式は学校長の式辞、新入生代表の宣誓(女子生徒)に続き、来賓として同窓生 2 万 6 千人を代表して同窓会本部副理事長の北沢真澄さん(73 期)の祝辞があった。

無事に式が終わり、希望に満ちた若者たちの眼差しに送られ会場を後にした。

なお、廣田校長によると、今年の母校の大学入試状況は国公立大学現役合格については好成績であったとのことである。(詳細は会報で紹介の予定)

(18 年 4 月 5 日記)

【入学式の日、古城の門にて】

